

# 会 報

＜第347号＞

一般社団法人兵庫県建築会



発行日：平成26年9月1日

- 目次
- ◎ 平成26年度建築確認検査機関連絡会の開催結果 …… 1頁
  - ◎ 会員レポート 『明舞団地まちびらき50周年』（第3回）川端宏幸氏 …… 2頁
  - ◎ 交流のひろば 『槍ヶ岳に登る』 山本康一郎氏 …… 3頁
  - ◎ お知らせ …… 4頁

## 平成26年度 建築確認検査機関連絡会

開催日 平成26年7月4日（金）  
開催場所 兵庫県職員会館  
議題 「**建築基準法改正の概要について**」  
出席者 兵庫県県土整備部住宅建築局建築指導課  
竹田茂課長、佃幹夫・田野万治郎副課長  
公益法人部会建築確認検査機関（5社）

兵庫県県土整備部住宅建築局建築指導課幹部をお招きし、さる6月4日に公布された建築基準法の一部を改正する法律についての説明会が開催されました。その概要は次のとおりです。



### 〈改正の主なもの：竹田課長説明〉

#### 1 構造計算適合性判定制度の見直し

- (1) 構造計算適合性判定（以下「適判」という。）を建築主事等の審査から独立させ、建築主が適判を直接申請できる仕組みに改め、建築主が審査者や申請時期を選択できるようにする。…確認申請と判定審査の平行審査化

施行日：平成27年6月1日（予定）

- (2) 構造計算適合性判定員の資格検定、登録等により資格者を継続的に確保する制度を導入する。  
受験資格…1級建築士で構造適判業務等における5年以上の実務経験

- (3) 許容応力度等計算（ルート2）について、「構造計算に関する高度の専門的知識及び技術を有する者」として国土交通省令で定める建築主事等が確認審査を行う場合には、適判の対象外とする。

施行日：平成27年6月1日（予定）

施行に先立ち、事前講習・考査を実施

#### 2 容積率制限の合理化

容積率の算定に当たって、昇降機の昇降路の部分及び老人ホーム等の用途に供する地階の部分の床面積を延べ面積に算入しないこととする。

施行日：昇降機 平成26年7月1日

老人ホーム 平成27年6月1日（予定）

なお、地区計画区域内は適用外となり、市町の条例対応によるため、物件の所在市町への確認が必要となる。

#### 3 その他

##### ア 木造建築関連基準の見直し（準耐火構造）

次の場合に、大断面木材などを活用して耐火性の高い材料で被覆等の措置によらずに準耐火構造等に行うこととする。

- 延べ面積 3,000 m<sup>2</sup>を超える大規模建築物について、火災の拡大を 3,000 m<sup>2</sup>以内に抑える防火壁等を設けた場合
- 3階建ての学校等について、天井の不燃化又は庇・バルコニーの設置など、区画を超えた早期の延焼を防止する措置を講じた場合

##### イ 仮使用制限制度における民間活用

工事中の建築物の仮使用について、一定の安全上の要件を満たす場合には、指定確認検査機関が認めるときは仮使用できることとする。

#### \* 「法改正に伴う指定判定機関の増設の考え方について」の質疑に対する回答

関東では十数社が指定を受け、競争関係となっている。「構造計算適合性判定」は、安全性確保の最後の砦であることから、競争関係とすべきものでなく、行政の監視が行届く範囲で指定し、しっかり指導していきたいと考えている。

県内での適合判定の申請件数を見る限りでは、現体制（日本建築センター、兵庫県住宅建築総合センター）で十分対応できるものとするが、法改正により新たに設けられた「職員数の算定方法」等の取扱いについて、現在、確認しているところである。

また、現体制で業務が円滑に実施されていないという指摘については、その解消に努めていく。

## 会員レポート

### 『明舞団地まちびらき 50周年』(第3回)

兵庫県住宅供給公社  
理事長 川端 宏幸

前回は、平成15年度に策定された明舞団地再生計画と、そのリーディングプロジェクトであるセンター地区再生事業及び県営住宅再生事業を紹介した。

今回は、同再生計画に基づくコミュニティの再生の取組と現状を辿っていく。

#### 1 まちづくり広場の開設とボランティアの募集

##### (1) まちづくり広場の開設

前回、紹介した平成15年に開催した「明舞まちづくりワークショップ」において、団地の再生には住民主体の活動が不可欠との意見が出された。それを受けて、第1センタービル2階の空き店舗



(写真は、まちづくり広場での活動風景)

を活用して、住民だれもが気軽に立ち寄り、まちの情報を交換・提供し交流できる「明舞まちづくり広場」が平成16年7月に開設された。兵庫県住宅供給公社がスペースを無償提供し、兵庫県が光熱水費を負担し、コーディネーター配置を「神戸まちづくり研究所」に委託している。

##### (2) ボランティアの募集

コーディネーターを中心に、まちづくり活動に興味のある人材を募集したところ、「明舞まちづくりサポーター会議」が結成された。同会議が広場の利用調整を行うとともに、クリスマスフェスタ、スプリングコンサート、芋煮会、餅つき大会等を開催している。

また、住民同士が支援し合う「明舞お助け隊」を募集してメンバーに登録し、ふれあい喫茶などまちづく

地域内で助け合おう！ ご依頼お待ちしております

## 明舞 お助け隊

★★★★★明舞お助け隊はこんな活動をしています！★★★★★

**明舞まちづくり広場での活動**

ふれあい喫茶 cafe ひだまり (毎週火曜日)  
ほっとスペース mama cafe (毎週水曜日)  
【妊娠中のママや小さいお子さんを連れてママのためのスペースです。】

**予約制の活動**

- ◆ お庭のお手入れ、家具移動など  
料金：1階約7,710円(送料別) 7,500円(交通費別途)
- ◆ ゴミすて(燃えるごみ・大きなゴミ)  
料金：1階約7,710円(送料別) 2,500円(交通費別途)  
その他、お困りのことがございましたら、まずは一度、ご相談ください。

● お問い合わせ先 ●

【電話申し込み】火曜日 明舞まちづくり広場 078-785-3367  
月・水・木・金曜日 神戸まちづくり研究所 078-230-8511  
【直接申し込み】火曜日：明舞センター2階 明舞まちづくり広場へ

(図は、お助け隊の依頼募集チラシ)

り広場での活動や、庭の手入れやゴミ出し等に困る高齢者からの依頼と支援活動とのマッチングを行っている。平成25年度の登録者数は47人、活動延べ人数は440人。

さらに平成15年度、県が団地再生とコミュニティ活性化事業の一環として、空き店舗を利用したNPOによる団地再生モデル事業の提案を募集し、3つのグループが事業をはじめたが、同事業が終了した平成17年4月以降は「NPOひまわり会(代表、入江一恵)」が活動を続けている。昼のふれあい食堂と昼夜の配食サービスで年間2万食を提供するほか、店頭で有機、無農薬野菜の販売も行っている。また、年末年始のイベントや、独居の高齢男性対象の料理教室、幼稚園への食育出前講座なども開催している。

開設10年目の今年6月には、改修を終えた松が丘ビル1階に移転した。ボランティアは現在43人。

#### 2 新たな人材確保と活動拠点の拡充

##### (1) 学生シェアハウス

平成16年度に明舞団地再生計画が内閣府の地域再生計画の認定を受け、ミックスコミュニティの推進、高齢者等への生活支援の充実などを目的として、公営住宅を若年世帯住宅等として目的外使用することが認められた。対象団地は、県営明石舞子北住宅と明石舞子南住宅で、平成23年度から入居を開始し、平成26年度は7人が入居している。

4割が65歳以上という県営住宅に入居した学生が自治会活動に積極的に参加するとともに、フリーマーケットやパソコン教室などのイベントを企画し、世代を超えたコミュニティ再生に貢献している。

##### (2) 明舞まちなカラボ

明舞団地周辺には、様々な大学があるにもかかわらず、学生の姿を見ることは少ない。そこで、第1センタービルの空き店舗に兵庫県立大学が平成21年1月に学生の拠点となる「明舞まちなカラボ」を開設した。ここでは団地を生きた教材として研究するとともに住民との交流活動をすすめる、まちのシンクタンクをめざしている。近隣の神戸学院大学もラボに加わってイベントを開催したり、住民を対象に公開講座を実施するなど地元次第に定着しつつある。

##### (3) 明舞住民講座

人のつながりが希薄な団地において、様々な専門的知識や趣味を持つ住民を掘り起こし、講習会の機会を提供する「明舞住民講座支援事業(まちを楽しむ研究所)」が平成25年度から実施されている。平成25年度は「ウォーキングを楽しむ」や「宇宙と環境を楽しむ研究」など9講座が開催され、54名が受講し、住民交流とコミュニティ活性化を図っている。

##### (4) 松が丘コミュニティ交流ゾーン

平成25年度末に改修を終えた松が丘ビルの1階ホール脇に住宅供給公社が約50㎡の交



(写真は交流ゾーンでのイベント風景)

流ゾーンを整備した。交流ゾーンの管理運営は、明舞まちづくり推進協議会や商店会などで構成される運営協議会が実施し、光熱費、共益費を負担している。

交流ゾーンは、地域住民がイートインや休憩に自由に使う無償のフリースペースと地域活動や経済活動に使う有償のレンタルゾーンに区画されており、11時から13時半の時間帯はほぼ毎日予定が入り、知名度が上がるとともに、交流の場としての活用が進んでいる。

## 交流のひろば

### 『槍ヶ岳に登る』

株式会社 山本設計  
代表取締役 山本康一郎

2014年7月26日、30数年ぶりに槍ヶ岳山頂に立つ。深田久弥は日本百名山の中で「富士山と槍ヶ岳は、日本の山を代表する2つのタイプである。(中略)一生に一度は富士山に登りたいというのが庶民の願いであるように、いやしくも登山に興味を持ち始めた人で、まず槍ヶ岳の頂上に立ってみたいと願わない者はないだろう。」と述べている。山容は、北アルプスの山々を象徴するかのごとく穂先がそそり立ち、日本のマッターホルンと言われるダイナミックな岩峰である。3000メートルを超す山であり、軽装での登山はご法度である。もちろん、登山準備と体調管理に気を付けて登れば、小さなお子さんからシニアの方々も頂上に立つことができる山である。槍ヶ岳をふもとから眺められる場所は限られており、槍ヶ岳を見るには5時間以上歩かないと穂先を眺めることができない。唯一、高山市内や新穂高温泉郷からは北アルプスを遠望することで、その中でひとときわとんがった山が槍ヶ岳である。

山登りのブランク約30年。復活登山は、5年前の富士登山にさかのぼる。当時、友人T君60歳、K君58歳、小生56歳であり、T君、K君は山登り初心者につき、山岳ガイド同行の富士登山に参加。その後は、八ヶ岳、奥穂高、白馬岳登山と毎年1回3人での夏山登山を楽しんでいる。ヨレヨレだった初老登山隊も、年を追うことに装備は洒落たブランド物になり、歩き方もしっかりし様になってきた。おかげで今年の槍ヶ岳登山では、ほぼ標準タイムで無事に登頂、下山することができた。



- 1日目 上高地発→横尾→槍沢ロッジ泊(5時間30分)
- 2日目 槍沢ロッジ発→槍ヶ岳の肩→槍ヶ岳頂上→槍ヶ岳山荘泊(6時間)
- 3日目 槍ヶ岳山荘発→槍沢ロッジ→上高地(7時間30分)



**ここからがスタミナ勝負！！** 1日目、2日目は好天に恵まれ、槍沢に残る雪渓ではアイゼンを装着し慎重に登る。長く続くガレ場の登りはきついが一歩一歩高度を稼ぐ、槍ヶ岳が近づき大きくなるにつれ疲れを忘れさせてくれる。そして、やっとの思いで槍ヶ岳の肩にたどり着く。

ひと休みの後、頂上に向かう。ここからが槍ヶ岳登山の核心部である。槍ヶ岳の肩から頂上までは、登り専用と下り専用のルートに分けられている。頂上付近の登りは急勾配な岩場であるため、目印のペンキマークを探しルートをたどる。そして、3点確保の基本動作を守る。危険箇所には鎖やハシゴが設置されており、気を引き締めて登れば難所を超えることができる。



日本第5位 3180m 周囲は絶壁

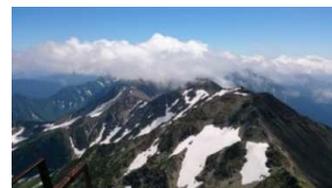
頂上直下には2本の長い鉄製のハシゴが設置されており、登りきると山頂に到達する。下りルートはさらに緊張する箇所があり、岩の手掛かりや足場を見定め慎重に降りることが肝要である。



槍ヶ岳山荘と槍ヶ岳穂先

今回、快晴の槍ヶ岳山頂からは、360度パノラマの景色は厳しかった登りを忘れさせ、心の底から登頂の喜びと山々の風景を愉しむことができた。また、山頂の祠を30数年ぶりに拝み、感動がジーンと胸にこみ上げた。

山登りの満足感は、山頂に立った一瞬の喜びであります。まさしく「百の頂きに百の喜びあり」である。今回は、天候に恵まれたが、霧の中でまったく何も見えない時もあります。しかし、そこに山がある限り登りたくなるのが山好き人間です。また、苦しい上り下りの中、いろんなことを教えてくれるのも、山登りの素晴らしさであります。これからも無理をせず、自分たちにあつた山登りを楽しみたいと思う。



雲に隠れる穂高連峰を望む

後方中央が常念岳、  
手前は表銀座の山脈  
雄大な景色に感謝！！

## お知らせ

### ◎ 行事ご案内

#### 1 第432回月例会…まだ参加申込み受け付け できます。

と き 9月11日(木) 12時～14時  
ところ 西村屋 和味旬彩  
テーマ **「黒田官兵衛の実像」**  
講 師 播磨学研究所  
所長 中元 孝迪氏  
(7月25日付でご案内をメール配信しました)



改修をほぼ終え、白亜の  
天守がよみがえった所縁  
の姫路城

#### 2 第433回月例会…参加者募集中

と き 10月16日(木) 12時～14時  
ところ 東急イン  
テーマ **「原子力発電について考えてみませんか？」**  
講 師 長野 恒己氏  
ながの技術士事務所代表  
ひょうご出前環境教室講師  
(8月25日付でご案内をメール配信しました)

#### 3 第149回研修交流会…参加者募集中

と き 10月28日(火) 8時20分集合  
ところ **六甲国際ゴルフ倶楽部**  
スタート 9時03分、同10分、同17分、同24分  
(8月12日付でご案内をメール配信しました)

#### 4 見学研修会(第434回月例会併催) …参加者募集中

##### 《平安の色彩と紅葉を訪ねて》

と き 11月20日(木) 8時45分集合  
ところ 京都府宇治市 **三室戸寺、平等院鳳凰堂**  
京都市伏見区 **月桂冠大倉記念館**  
京都市東山区 **東福寺**



改修なった平等院鳳凰堂



東福寺(前年同時期)

(8月26日付でご案内をメール配信しました)

### ◎ お知らせ

日本建築学会大会[近畿]が「再生—未来へつ  
なぐ」をテーマに9月12日(金)～14日  
(日)、神戸で開催されます。

一般参加の可能な行事は次のとおりで、阪  
神・淡路大震災から間もなく20年を迎える中  
にあつて、今一度、震災から得た経験や、未来  
に残すべき教訓等について考える機会にして  
はいかがでしょうか。

#### 1 記念特別講演「阪神・淡路大震災から」

日時 9月12日(金) 15時～17時  
会場 ANAクラウンプラザホテル神戸 10F  
講師 安藤 忠雄  
定員 700名(入場無料・先着順)

#### 2 記念シンポジウム

「まちの再生と市民まちづくりのこれから  
—震災を経て市民まちづくりはどう変わったか—」  
日時 9月13日(土) 9時30分～12時  
30分

会場 神戸大学出光佐三記念六甲台講堂  
基調講演 佐藤 滋(早稲田大学教授)  
地元団体、専門家による各地からの報告  
パネルディスカッション

基調講演者・報告者 小林 郁雄  
定員 500名(入場無料・先着順)  
(8月19日付でご案内をメール配信しました)

### ◎ 事務局便り

今日から新学期ですが、子供達にとって今年は  
物足りなさの残る夏休みではなかったでしょう  
か。大阪でも8月の猛暑日はゼロであったとか。  
天候不順に加えての集中豪雨は、各地に甚大な被  
害を残しました。被害に会われた方々に心よりお  
見舞い申し上げます。台風シーズンの9月です  
が、無難にと祈るばかりです。

そして、8月には中旬以降に多くの案内をお送  
りしました。メール等が輻輳して申し訳ありませ  
ん。行事予定やお知らせを再掲しましたので、ご  
確認いただくとともに、ご参加を是非よろしくお  
願いします。

また、「交流のひろば」では、会員皆様の投稿を  
お待ちしております。前回の北浪さんの陶芸は生け  
花からと、魯山人の食と器を彷彿するご趣味でし  
た。山本さんからは復活登山のお話で、今後も体  
力面と相談しながらのようですが、お気をつけ  
て。登山の趣味をお持ちの方は他にもいらっしや  
ると思いますので、お声掛けください。

このコーナーを通じて、新たな交流の広がりを  
期待しています。